

# 学び×遊び まるごと子育てエンパワメント養成事業

(岩手県宮古市、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市) ～一般社団法人子どものエンパワメントいわて～

報告概要

**取組全体の目的・概要:**復興期の子どもへの困難ケースに対応できる人材を育成するため、学習支援や復興支援にかかわる若者に対し、学びと遊びの「場」のメリットを活用できる全対応型・包括型エンパワメント(プレイリーダー)養成研修を行う。また研修修了者は子どもたちへの総合的な支援モデルを構築するための実地研修においてエンパワメント手法の抽出を行い、事例集・教材集にまとめ発信する。

**取組の先導性:**学び要素と遊び要素を使い分けて支援のできる「全対応型・包括型のエンパワメント(プレイリーダー)」を養成し、これまで解決が困難だった不登校、PTSD、発達障がい、DV家庭といった子どもたちへの総合的な支援モデルを構築・体系化し、ノウハウを発信する。

## 主な実施内容

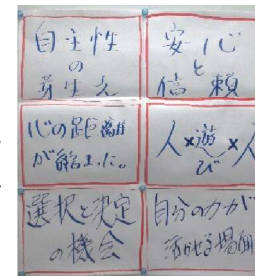
### 取組①エンパワメント(プレイリーダー)養成事業

#### エンパワメントリーダー研修

平成25年11月4日に宮古市にて開催、既に子ども支援等の現場にて経験を持つ11名のエンパワメントリーダー候補が参加した。子どもが持つ力を信じ、その力が発揮されるサポートをする「エンパワメント・アプローチ」を踏まえた、学びと遊びの場づくりについて学んだ。ここで養成したエンパワメントリーダーが、下記、エンパワメント養成研修や取組②学び×遊び 実施研修等で企画・運営で中心的役割を担うことを想定した。

#### 学び×遊び エンパワメント養成研修

平成26年2月15日、16日に滝沢市にて開催、東北の子ども支援等にかかわる若者30名が参加した。研修の1日目は講師らの人生でのエンパワメント体験を聴くことや、プロジェクト・アドベンチャーの手法を通じてエンパワメントについて感じられる内容とした。2日目は、1日目に感じたことと参加者の現場経験から、エンパワメントにとって大切なこと、技術、気づきを共有し、講師らとともにエンパワメントアプローチへの理解を深めた。



学び×遊び エンパワメント養成研修

### 取組②学び×遊び 実施研修

取組①で養成したエンパワメントを中心に、子どもがより安心できる居場所づくりと、学習意欲の向上を目的とした学び×遊び企画を3月16日までに8回実施した。それぞれの企画には不登校の子どもへの機会提供、遊びの中での地域交流等、エンパワメントの要素がちりばめられている。

- |     |             |                          |
|-----|-------------|--------------------------|
| 第1回 | 平成25年11月4日  | 宮古っこフットサル大会(宮古市)         |
| 第2回 | 平成25年11月10日 | 私の越喜来っていいところ！遊びひろば(大船渡市) |
| 第3回 | 平成26年1月13日  | 世界で一つのパン作り教室(釜石市)        |
| 第4回 | 平成26年1月13日  | “ふわふわ”で遊ぼう@鶴住居(釜石市)      |
| 第5回 | 平成26年1月25日  | スノーバスターズin西和賀(西和賀町)      |
| 第6回 | 平成26年2月23日  | ふわふわで遊ぼう！昔あそびを知ろう！(大船渡市) |
| 第7回 | 平成26年3月9日   | 地域探検をしよう！ふわふわで遊ぼう！(大船渡市) |
| 第8回 | 平成26年3月16日  | 田老遊び広場(宮古市)              |



世界で一つのパン作り教室 ふわふわで遊ぼう！昔あそびを知ろう！



## 主な実施内容

### 取組③エンパワメント事例集・教材集の作成

取組①での研修から抽出されたエンパワメント手法、取組②での実施研修から得られたエンパワメントへの気づきから、エンパワメント教材集(キット)を作成した。この教材集には、エンパワメンターが実際の活動現場の中で、子どもたちとのコミュニケーションツールとして活用できるカードやはがき、エンパワメンターの日々の活動の中での気づきや、エンパワメントにつながる態度・姿勢・技術・力、について蓄積できるノート等を作成した。これまで蓄積したノウハウを伝えるという趣旨のみの教材ではなく、ツールをもとに子どもの様子や状況に合わせ、支援の内容を深め、膨らませていくことができるような教材を開発した。

また、取組②の実施研修の中からエンパワメント事例の抽出を行い、事例集とした。この事例集や前述のノートに蓄積されるエンパワメンターの気づきは、エンパワメントアプローチを深めていくために今後活用していく。



## 得られた成果

### 【エンパワメンター養成研修会】

これまで岩手県の沿岸被災地で活動していた若者を中心に、エンパワメンターを30名、その中からリーダー的役割を担う者11名を養成した。講師による講義や体験型研修により、学びと遊びの両面のメリットを使い分け、包括的な子育てサポートを担う人材を養成することができた。

### 【学び×遊び 実施研修】

現場でのニーズを基に、8回以上実施。被災後に様々な困難を抱える子どもたちへの心身のサポートを企画実施した。不登校生徒が学校へ通い始めたり、感情を豊かに表現できるといった変化、発達障がいやPTSD窮屈な気持ちの生徒が安心してストレスを発散する様子が見られた。延べ97人を越える子どもたちをサポートすると共に、その実践から得られるノウハウの蓄積、エンパワメンターの企画実施力が向上した。

### 【事例集・教材集の作成】

エンパワメンターキットおよび事例集の作成により、エンパワメントの理論と実践を広範に伝えていくツールを開発した。また、エンパワメンターが今回の研修会・実施研修の内容を深め、今後活動を発展的に実施できる仕組みづくりを行うことができた。



## 今後に向けた課題・活動の見通し

### 【課題】

- ・エンパワメンター研修に、沿岸に居住する地域の人材を広く公募し、取り組みを広める人材の増加を図る。
- ・研修を通して把握した、遊びに対するニーズに応えるため、遊びプログラムの実施回数を増加する。
- ・既存のエンパワメンターリーダーのみではなく、エンパワメンターが自らニーズを基に活動を企画実施できるサポート体制の構築

### 【平成26年度の活動の見通し】

- ・エンパワメンター養成研修会を開催(2回以上をめど)。沿岸に居住する地域の大人を公募した研修を実施し、地域で子育てを支える体制を構築する。
- ・実施研修を、回数を増加して実施(20回をめど)。取り組みを陸前高田市、大槌町、県外などに拡大して実施する。
- ・ワークショップツールなどの発信資料を開発し、全国に対して取り組みの発信およびノウハウの伝達を充実させる。